

歴史を^い活かしたまちづくり

岡崎市の歴史を^{ひも}紐解けば、古より矢作川流域で人々の生活が始まり、多くの古墳や遺跡が残されています。また、交通の要衝としても栄え、近世には徳川家康公生誕の地として、歴史上重要な役割を果たしてきました。市内には13もの国の重要文化財建造物があり、伝統産業の八丁味噌^{みそ}を始め、花火や祭

市長室より

Next!
岡崎
次の新しい おかざき



岡崎市長
内田 康宏

礼など数多くの伝統行事も今なお市内各所で引き継がれています。先日もち川の河川整備を進める中で、直線で切れ目のない城壁としては国内最長となる岡崎城の石垣が確認されました。現在、私が進めているまちづくりは、こうした貴重な歴史文化資産を再認識し、観光産業を新たな経済の柱に育てあげるための事業です。このたび「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」に基づき策定した「岡崎市歴史的風致維持向上計画」が、5月19日に国の認定を受け「歴史都市」の仲間入りを果たすことができました。これにより、様々な施策や事業が国の支援を得て計画的に実施できるようになります。本市には、まだ知られていない数多くの歴史文化資産があります。これらを活かしたまちづくりを積極的に進めてまいります。